

虫倉山山行報告

【山城】長野県・小川村・虫倉山（1378m）

【日程と天気】2015年10月31日晴れ

【メンバー】CL 菊池（記）・菅井・八角（記）・小倉夫妻・加藤・井上・寺崎・清野・吉瀬・多湖

【行程】長野 IC-小川村-虫倉山不動滝ルート登山口（980m）9:10-10:50 虫倉山山頂（1378m）-登山口-大望峠-戸隠鏡池-信濃町・信越病院-馬曲温泉（梨の木荘）



・長野市から近い小川村の虫倉山は北アルプス（後立山連峰）展望の名山として、地元では人気があるが、関東の人々



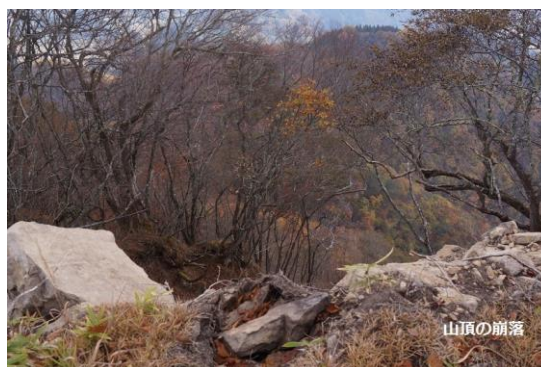
にはあまり知られていない。私は2012年11月初めに行ってみたが、素晴らしい展望と紅葉を



満喫できたため、ちば山の仲間にも是非紹介したいと考えていた。当日は弱い冬型が残り、北アルプスの展望は望めなかったが、里山の紅葉を楽しめ、満足な北信紅葉

山行の第一日目となった。

・昨年11月の長野神城断層地震の影響で東屋の柱が倒壊したり、山頂は崩落で半分ほどの狭さとなっており、前回私が下山したさるすべりコースは通行止めとなっていた。



・3時間ほどのショートハイク終了後は、名所の大望峠・戸隠鏡池を案内し、旧勤務地の信濃町・信越病院経由で馬曲温泉に向かった。望郷の湯（野天風呂）と梨の木荘宿泊での自炊宴会を堪能しました。



八角さんから下記の感想文が送られてきましたので紹介いたします。

目になれし
山にはあれど秋くれば

神やすまむとかしこみて見る 石川啄木

(故郷の見慣れた山だけれど、秋がやってくると神が宿り、恐れ敬って見るのである)

先月、長野の「虫倉山」に行ってきました。2日目の「鍋倉山」の前日に登った山です。登山口まで車で林道を登って行くと、木立の間から大きな集落が現れました。山裾にしっかり抱かれた集落です。穏やかな日差しの中に人の姿はありませんでしたが、「共和国」の看板が見えました。林道は、比較的奥まで車が入れるように整備されています。「虫倉山」、虫たちがいっぱい生息しているから虫倉山だ。そう意識しながら登りました。

登山口の側に滝があり、水が豊富な山のように見えます。まず、われわれは滝をバックに写真を撮りました。植生の関係か、全てが紅葉する樹林ではないのですが、点在する山もみじは、鮮やかで存在感のあるものです。山頂に近い東屋からは集落が見下ろせます。この前の地震で柱が全部折れ、屋根だけが無傷に残っていました。ここから見下ろす紅葉はさらに鮮やかでした。紅葉に包まれている集落を遮らないように立木が払われています。虫倉山が、集落の裏山であることが実感できます。

「目になれし山にはあれど秋くれば神はすまむとかしこみて見る」啄木の歌です。啄木の歌には望郷の念がよく故郷の自然が出てきます。とりわけ、啄木の山への向き合い方が好きな歌です。秋、山に神が宿り、生き物人々、万物が一体化する、われわれを優しい世界に導いてくれる「虫倉山」でした。